

2011 春 東京を 変える

都民がつくる革新都政

2011年3月24日
発行=革新都政をつくる会
発行人・中山 伸
〒170-0005 豊島区南大塚2-33-10
東京労働会館5F
電話(5978)4031
http://www.ny.airnet.ne.jp/kakushin/
(1部25円、送料は別途)

震災被災者の救援に総力を



都政への熱い思いを語る小池あきら候補=新宿駅西口

「いのちを守る」を掲げ、都民の熱い思いを語る小池あきら候補。新宿駅西口で演説する小池候補。背景には「いのちを守る」の横断幕が掲げられていた。

「食文化にぎわいのある築地は日本の財産。この場所での再整備こそが消費者、生産者、都民全体の利益になる」と訴えました。



東京中央市場労組の羽根川委員長と、パネルで豊洲の液状化問題を訴える=築地4丁目交差点(中央区)

3.24 都知事選告示 新宿で第一声

いまこそチェンジ石原都政
都民のいのちとくらしを切り捨ててきた石原都政をいまこそ転換しよう――。
東京都知事選(4月10日投票)が3月24日告示され、選挙戦がスタートしました。「革新都政をつくる会」の小池あきら候補(50)は無所属で、新宿区の選挙事務所前で出陣式を行いました。冒頭、東日本大震災の犠牲者に黙とうを捧げ、駆けつけたマスコミや支援者を前に「今こそ石原都政を

チェンジする時」と力強く決意を語りました。
いよいよ第一声。新宿駅西口で午前10時から行われた街頭演説では、今回の大地震による被害は原発による放射能汚染など都民にも大きな影響を与えており、「今までの都政を根本から見直すことが求められている」と訴えました。

石原都知事は「何がせいたくか」と言えば、まず「福祉」として就任後、真つ先に震災予防条例を改悪。その結果、都の震災対策は大きく後退し、現在では消防ポンプ車等は、人口10万人あたり台数が全国46位、救急車台数は全国最下位というのが現状です。小池候補は「これでは都民のいのちは守れない」と訴え、東京を「福祉・防災都市」とするために、「オリンピック開催など

足立区の女性は「消防車の台数が全国46位、救急車台数が全国最下位」と訴えました。
国最下位というのは小池さんの話を聞いて初めて知った。こんなにひどい政治だったんだと実感。なんとかして変えてほしい。
渋谷区在住の女性は「福島原発事故による水道水の放射能汚染などを心配している。石原都知事の『天罰』発言は許せない。住民のいのちとくらしに責任を持つ都知事を望む。小池さんしか託せる人はいない」と熱く語りました。

いのちを守る 「福祉・防災都市東京」を 小池あきらら知事で実現しよう

託せるのは小池あきらさんだけ

ストップ豊洲移転、築地市場でにぎわいを

としても当選させたい」と力強く語りました。

